

③海水密度

図 1-1-24 に海水密度 (σ_t) の推移を示す。調査期間中、 σ_t は 7.7 から 21.9 で推移した。7 月中旬及び 8 月中旬から 8 月下旬にかけて表層付近で低下したが、これは塩分の低下及び表層水温の上昇による影響が考えられた。

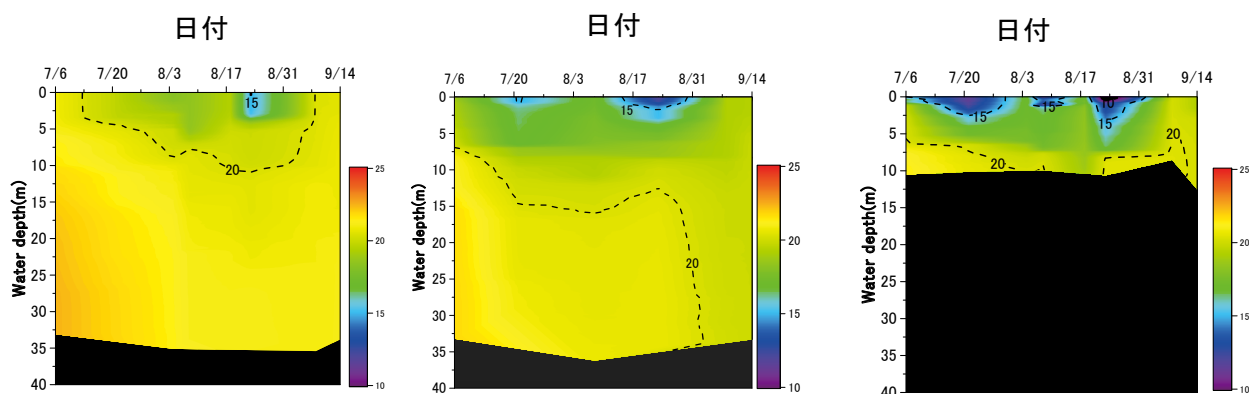


図 1-1-24. σ_t の推移 (代表 3 点: 左図から St.1、St.5、St.9)

④クロロフィル a (植物プランクトン発生状況)

図 1-1-25 に調査期間のクロロフィル a の推移を示す。7 月上旬から 8 月下旬に表層から中層付近で増加し、特に、St.5 では 8 月 8 日に最大 141.1 $\mu\text{g/L}$ を観測した。

7 月 6 日、St.5 でシャットネラ属が 120 cells/mL 確認され、他の調査点においても 1～5 cells/mL 程度確認された。

7 月 21 日、St.7 でシャットネラ属が 82 cells/mL 確認され、他の調査点においても 1～67 cells/mL 程度確認された。

8 月 8 日、St.5 でシャットネラ属が 120 cells/mL 確認され、他の調査点においても 1～110 cells/mL 程度確認された。また、St.5 でアカシオ サンガイネアが 380 cells/mL 確認された。

8 月 23 日、有明海の広範囲でスケルトネマ属を主とした珪藻類が確認され、St.1 で 17,000 cells/mL 確認され、他の調査点においても 220～16,000 cells/mL 確認されたが、9 月以降は減少した。

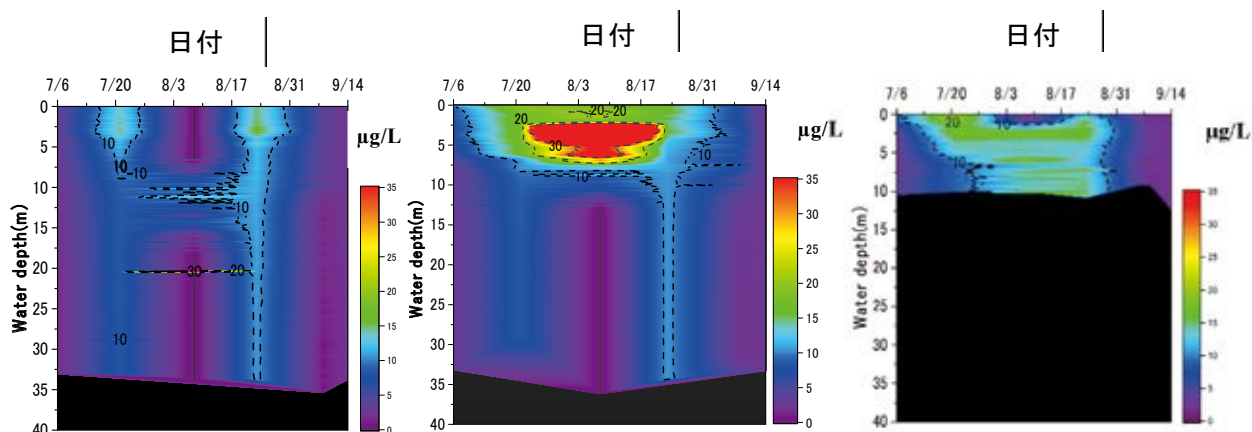


図 1-1-25. クロロフィル a の推移 (代表 3 点: 左図から St.1、St.5、St.9)